

わたしの
知りたいこと!



わたしの
役に立つこと!



学んで良くする

「わたし」の暮らし・仕事・住んでいるまち

わたしごとを アップデート!

わたしの
仕事!



わたしの
好きなこと!



第3次静岡市生涯学習推進大綱

2023 ▶ 2030

【概要版】

「わたしごとをアップデート!」とは

私たちは普段、「生涯学習」という言葉から「趣味・教養を高めること」「高齢者の生きがいの充実」などを連想しがちです。しかし、本来の「生涯学習」とは「暮らしの中で主体的に行われる多様な学び」のことを言います。

そこで本市は、暮らしをより良くしたり、仕事や地域活動に活かしたりする学びなどの「大人の学び直し」を含めた多様な学びとしての「生涯学習」を広めるために、キャッチコピーとして「わたしごとをアップデート!」を掲げることとしました。

※「わたしごと」とは

わたしの「好きなこと」「知りたいこと」「役に立つこと」と「仕事」につながる学びのこと。

生涯学習やまちづくりを自分ごとと感じてもらうための、静岡市の新しい言葉。

わたしごとをアップデート!...学びを通じて今よりも成長した「わたし」になること。

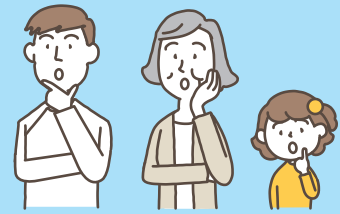
1. 生涯学習ってなんだろう？

お茶や将棋などのサークル活動を楽しんだり、体育館や公園でスポーツをしたり、暮らしの中にはたくさんの「学び」があります。

一方、人生100年時代と言われる社会の中で、社会問題や科学を取り上げた本を読んだり、仕事に必要な技術や知識を学んだり、新しいことを学び続けることも求められています。

私たちはいつになっても、様々な場所で、様々な人々と学ぶことができます。暮らしの中で、主体的に行われる多様な学びを「生涯学習」と言います。

学びを楽しみながら、自分らしさを育て、より豊かな人生を送ることは、誰もが持つ権利です。

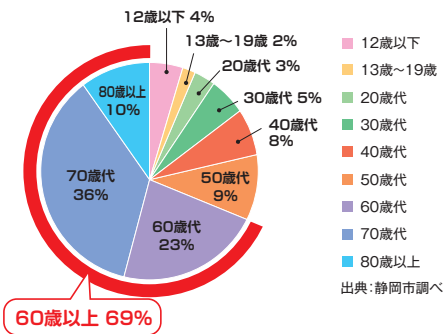


2. 静岡市の現状と課題

現 状

1 静岡市の生涯学習を取り巻く状況

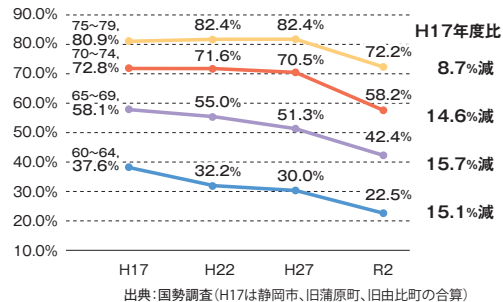
図1) R2年度生涯学習団体構成員の年齢構成



生涯学習施設の主な利用者は約7割が60歳以上

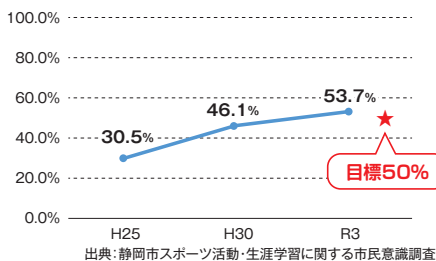
若い世代の学びの場になっていない

図2) 静岡市内の年代別の非労働力人口率



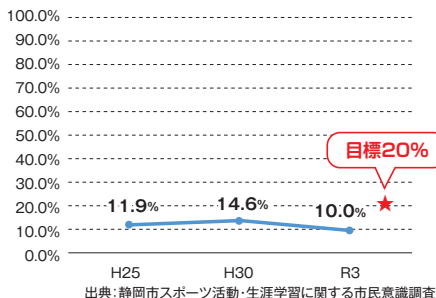
2 第2次大綱(平成27～令和4年度)の評価

図3) 生涯学習を行っている市民の割合



生涯学習を行っている市民の割合は増加しているが、学んだことを地域や社会での活用に活かしている市民の割合は減少

図4) 学んだことを地域や社会の活動に活かしている市民の割合



新型コロナウイルス感染症拡大による影響？

課 題

市民の学ぶ意識の醸成と多様なニーズに応える学習機会の提供

働いている人たちにとっても使いやすい施設づくりや魅力ある学習機会の提供に取り組んでいくとともに、より幅広い層の学習ニーズに対応するために、対面式の学習に加え、デジタル技術を活用したオンライン形式の学習などを提供していく必要がある。

地域や社会での活動の支援と働きながら参加しやすい仕組みづくり

これまで地域活動の主な担い手であった中高年に限らず、幅広い年代の市民が働きながら自治会等の地域や社会での活動に参加しやすい環境や仕組みづくりが求められている。

変化の激しい経済社会に適応していくための学びの充実

学校教育を終えて社会に出てからも常に学び続け、新しい考え方やスキルなどを身に付けていくことが求められているため、大学や企業等と協働し、リスキリングやリカレント教育等といった「大人の学び直し」などの学びの場の充実に取り組んでいく必要がある。



3. 将来像

本市では、「まちづくりは人づくり」の考え方の基に、学んだことを活かして「自分のため」「みんなのため」に行動する人が活躍できる生涯学習社会を目指して、次のような将来像を掲げています。

だれもが、いつでも、どこでも学び、
学んだ成果を活かすことのできるまち

将来像実現に向けた「8年後の目指す姿」

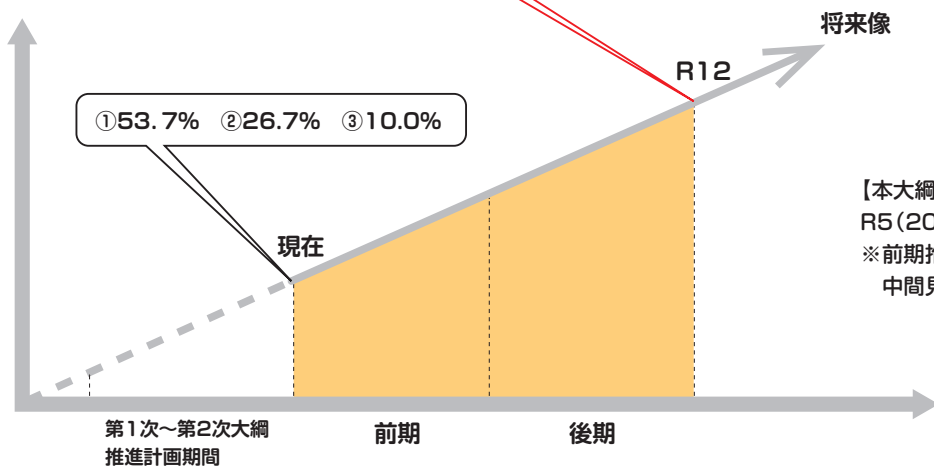
- より多くの市民が生涯学習を行っている(成果指標①)
- より多くの市民が学んだことを職業生活や地域、社会での活動に活かしている(成果指標②、③)



「8年後の目指す姿」が達成されたかどうかを評価するために、成果指標を定め、その実現に取り組みます。

成果指標

- ① 生涯学習を行っている市民の割合…………… 70%
- ② 学んだことを仕事や就職活動に活かしている市民の割合…………… 35%
- ③ 学んだことを地域や社会での活動に活かしている市民の割合…………… 20%



【本大綱の計画期間】
R5(2023)～R12(2030)年度の8年間
※前期推進計画終了時のR8(2026)年度に
中間見直しを行います。

4. 施策を進めるうえで大事にしたい視点

「だれもが」「いつでも」「どこでも」学び、活かすことができるよう、多様な人々の学びと交流を大事にし、次の3つの視点を持って施策を進めていきます。

(1) 年代や国籍、障がいの有無など様々な属性をもった市民一人一人へ配慮すること

例えば…国籍や障がいの有無に関わらず学ぶことができる機会を提供します。
例えば…やさしい日本語を使用するなど、情報発信の方法に配慮します。

(2) テーマや対象者に合わせて事業を実施すること

例えば…年代や生活様式などに合わせたテーマや内容の学習機会を提供します。
例えば…時代の変化に対応し、リモート形式などの学習形態を柔軟に取り入れます。

(3) 学びを通じて市民相互の交流を推進すること

例えば…生涯学習施設の地域の交流の場としての機能強化を図ります。
例えば…学習を通じた市民同士の交流を促進します。



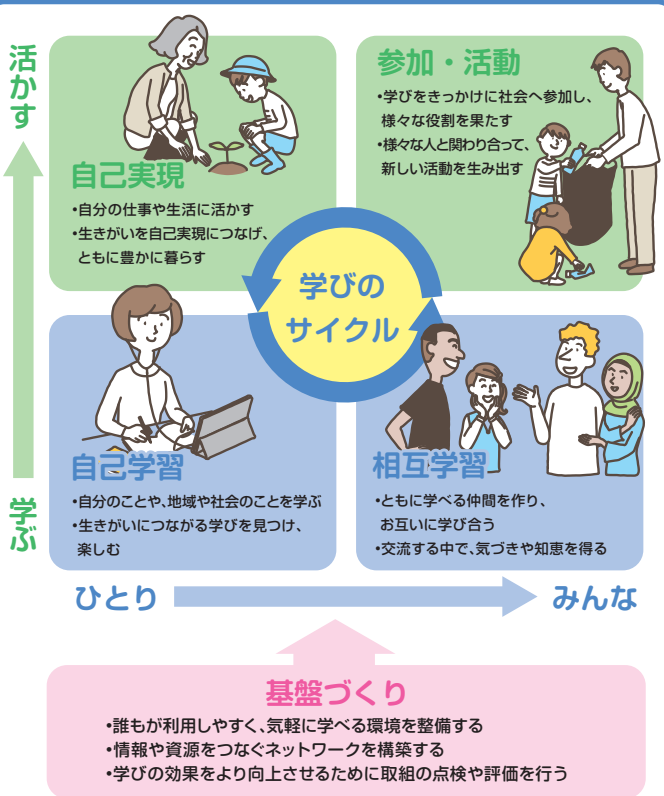
5. これからの静岡市の取組み

将来像 だれもが、いつでも、どこでも学び、学んだ成果を 活かすことのできるまち

8年後の目指す姿

- より多くの市民が生涯学習を行っている
 <成果指標>
 ・生涯学習を行っている市民の割合
- より多くの市民が学んだことを職業生活や、地域、社会での活動に活かしている
 <成果指標>
 ・学んだことを仕事や就職活動に活かしている市民の割合
 ・学んだことを地域や社会での活動に活かしている市民の割合

基本的な指針と学びのサイクル



■**学びのサイクルとは**
 自分らしく生きていくために必要なことを様々な人と共に学び、認め合い、高め合い、主体的に社会やまちづくりに参加、活動し、自己や他者の承認を通じてさらなる成長に向かうこと

施策を進めるうえで大事にしたい視点

- 1 年代や国籍、障がいの有無など様々な属性をもった市民一人ひとりへ配慮すること
- 2 テーマや対象者に合わせて事業を実施すること
- 3 学びを通じて市民相互の交流を推進すること

施策の柱

大施策

1 誰もが気軽に学び、互いに学び合える機会の充実

リーディングプロジェクト1
 「大人の学び直し」を推進する
 「Reまなび」プロジェクト

- (1) 変化の激しい社会で生き抜くための学習機会の提供
- (2) 暮らしを豊かにする学習機会の提供
- (3) 市民の自発的な学習の促進

2 学びを地域や社会に活かすための支援の充実

リーディングプロジェクト2
 シン「こ・こ・に」プロジェクト

- (1) 地域や社会を担う人材の養成
- (2) 対話や地域交流の促進
- (3) 市民の自発的な地域・社会活動の促進

3 「学ぶ」「活かす」の循環を支える基盤の充実

リーディングプロジェクト3
 生涯学習DXプロジェクト

- (1) 学びやすい生涯学習施設等の整備
- (2) 生涯学習施設等のデジタル環境の整備
- (3) 生涯学習に関する啓発や情報発信
- (4) 学習・活動相談体制の整備
- (5) 生涯学習推進体制の充実

「8年後の目指す姿」の達成に向けて、各施策の柱の事業を中心に他の柱の事業も含めたプロジェクトを形成し、それぞれの柱をけん引していくリーディングプロジェクトを中心に、各事業を進めていきます。



わたしごとをアップデート! 第3次静岡市生涯学習推進大綱 (令和5年3月発行)

静岡市 市民局 生涯学習推進課 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 電話:054-221-1150 FAX:054-221-1758

★もっと詳しく知りたい方はコチラへ! → https://www.shizuoka.lg.jp/000_002354.html

